

ホワイエ *Foyer* イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo 617

2023 9



ホワイエ 617 目次

- 03 大使館巡り-4 伊藤寛明
- 04 関東大震災遺構 墨田・江東区散歩レポート 山下千佳
- 06 のこぎり屋根に魅せられて 吉田敬子
- 08 アジアンニュース-9 ベトナム北部サパ市もろもろ事情 TN
- 10 掲示板 – 神宮外苑関連・新建ゼミ・高橋さん偲ぶ会案内
- 11 「建築とまちづくりセミナー-in 彦根」の案内

今月の表紙 写真：山下千佳

関東大震災から100年 9月3日に支部主催で「関東大震災遺構 墨田・江東区散歩」をおこないました。
東京都復興記念館を見学し、案内人の丸谷さんから説明を聞いて出発しました。

Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

東京支部

- ◎9/03 日 10:00～「関東大震災遺構&江東区散歩」東京支部主催
- ◎9/12 火 18:30～「関東大震災 100年記念連続学習会」@全労連会館 2階 新建東京支部共催
- ◎9/14 木 第8回支部幹事会 @オンライン
- ◎9/29 金 17:00～19:00 高橋偉之さんを偲ぶ会 自由学園明日館 会費5,000円

全国

- ◎9/09 土 9:30 全国幹事会 @オンライン
- ◎9/24 日 16:00 第9回子ども環境研究会 @オンライン
- ◎9/15 土-9/16 日 宮城支部「石巻市・東松島市・女川町の被災地復興の視察研修」
- ◎10/14 土-15 日「建築とまちづくりセミナー-in 彦根」 担当:西日本ブロック
詳細は <https://nu-ae.com/231014kenmachi-hikone/>

会員及び交流団体

- ◆9/14 木 18:30 一木会「自然災害に備えて 住まいづくりの勘どころ」
ゲスト 加部千賀子氏他@としまち研
- ◆9/21 木 19:00～「春夏秋冬のある暮らし」北海道江戸期のニシン御殿 講師：金田正夫
セミナー申込：mukuri_d@yahoo.co.jp



各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

下記アドレスまで原稿をお寄せください！ foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp

先の日程（新建全国&東京）

- ◎11/11 土 PM 鎌田一夫さんの想いをつなぐ会 @建築家会館
- ◎11/25 土 第35回全国大会 @オンライン
- ◎12/09 土 支部実践報告会

大使館巡りの復習としてGooglemapで見直したりするのですが、かなりの頻度で同じ少年が写っている写真が出てきます。別にライバル視しているとかは全く無いのですが（笑）お父さんに連れられて巡っていたとしても、とてもいい経験になっているだろうなど。その経験が、例えば将来外交官になりたいとかワールドワイドな視野と感覚を育むのではないかと思った次第。

今回、都市やまちを多面的に見る方法の一つとしての大使館巡りを紹介してきましたが、同様の視点として古典的なものを参考まで。

- ・「超芸術トマソン」赤瀬川原平
ここからまちの新しい見方が始まった。
- ・「路上観察学入門」藤森照信・赤瀬川原平
建築史家も交えて学術的に？
- ・「アースダイバー」中沢新一
さらに古いレイヤーを現代に重ねる。
- ・ブラタモリ
見たことないけれど（笑）

様々な切り口で都市やまちを見ていくことによって、普段生活している場所が、より立体的に見えてくることの面白さを味わっていただければ良いなと思っています。

このコラムに、大使館の見学会を新建の名前で申し込んでみたら？という反響がありました。気を練って企画したいと思います。私の大使館巡りはまだ続きます。コラムはまた気が熟した時に。



チュニジア大使館（千代田区九段南）



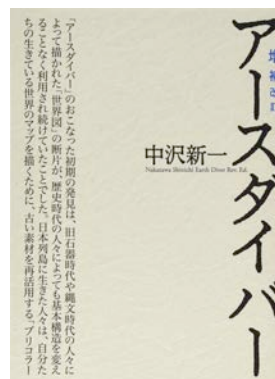
ポーランド大使館（目黒区三田）



がま文庫



がま文庫



関東大震災から 100 年の今

関東大震災遺構 墨田・江東区散歩レポート

山下千佳

1923年9月1日に発生した関東大震災から100年が経ち、震源は神奈川県相模湾、神奈川県全域・房総半島の揺れは大きく震度7・6強の地域が多くありました。地震による犠牲者は1万1千人でしたが火災による犠牲者は9万2千人に及びました。

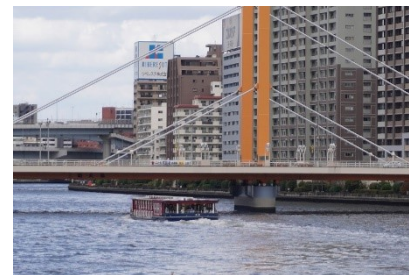
9月3日(日)に東京支部主催で遺構を中心に、墨田と江東区の資料館などを見学しながら、まち歩きをしました。東京都復興記念会館に10時に集合し会館の中を見学した後、道案内人の丸谷博男さん(支部代表幹事)から説明を聞き、散歩をスタートしました。

参加者は東京支部から石原重治さん、大力好英さん、千代崎一夫さん、柳澤泰博さん、山下千佳、午後から木村美千代さん、高本明生さん、泉宏佳さん(千葉支部)・酒井行夫さん(神奈川支部)、会員でない方の参加は石原さん、千代崎さん、丸谷さんのお連れ合いと全国災対連事務局の方、全員で14名になりました。



東京都復興記念館 都立横網町公園

1931年に開設 震災当時の様子を伝える絵画、写真、図表、遺品などが展示されています。



清澄庭園 大正記念館 「震災から命を守ろうー過去の震災に学ぶーパネル展」

大正記念館ではパネル展と地震当時の記録動画や防災の心得などの映像を見ることができました。



清澄庭園の周辺の深川地域は関東大震災ではほぼ全域が焼失しましたが、公開されていた場を含めて避難者1万人の命を救いました。その後、所有者の岩崎家は復旧・復興のために寄贈しています。太平洋戦争中にも住民を守り、後には庭園も寄贈されました。



清澄庭園・旧東京市営店舗向住宅（江東区清澄 3-3）

復興事業の一環として東京都が 1928 年に建設した店舗付住宅です。清澄通りに沿って約 250m にわたって立ち並ぶ鉄筋コンクリート造の長屋で、建設から 95 年が経過した今もなお実際に店舗付住宅として使用されており、人気のあるカフェやギャラリーなども入居しています。



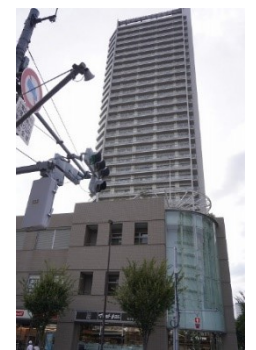
深川図書館 3階で震災パネル展を開催していました。



深川江戸資料館

同潤会清砂通りアパート

同潤会アパートは、関東大震災後の復興を目的として「財団法人同潤会」により建設された集合住宅で、「同潤会清砂通アパート」（通称・東大工町アパート）は 1927 年に竣工されました。老朽化を理由に 2005 年に現在の「イーストコモンズ清澄白河フロントタワー」に建て替わりました。



写真上) 当時の写真 (マンション再生協議会 HP より)



関東大震災復興小公園 (元加賀公園)

壁泉のモニュメント 後ろを見ると井戸があり、配管も繋がっているのでもまだ水が出そうです。



おいしかった



最後は富岡八幡宮でお疲れ様の記念撮影

約 6 時間 歩数計は 22425 歩
横網町公園には「もう一つの緑の効果」として「樹木には町並みを美しくする働きほかに、火災による火の粉や熱風から人を守る働きがあります」という掲示がありました。100 年の時を経て、過去の教訓を今につなげて「防災力」を高めたいです。とても良い体験学習会でした。

昼食「深川めし」お店の前で

鋸屋根に魅せられて

愛知県知多半島東浦地域①-1 写真家 吉田敬子

「タイムカプセル」と言えば、カプセル状の容器に、その時代のものを入れて地中に埋め、ある年月が経った後に開けるものです。30年近く撮りためた写真を整理していた時です。「知多半島のこぎり屋根・2002」と書いてある箱を発見しました。箱の中には資料と撮影記録と約20本のフィルムが入っていました。まるで、タイムカプセルを開けた気分でした。今回はホワイエ初公開です。知多半島東浦地域の鋸屋根を紹介します。2002年2月20日私は仕事で名古屋に滞在していました。仕事以外の目的は知多半島の鋸屋根を撮影することでした。知人から紹介して頂いた、半田工業高校の稲生先生を訪ねました。先生は穏やかな方で、「僕の卒業研究は1996年ですから、取り壊した工場もあると思います。熱心な吉田さんの役に立てれば幸いです。」と「鋸屋根に関する研究」(知多半島東浦地域)名城大学工学部建築学科・卒業研究1996年2月と、東浦町鋸屋根工場一覧表を頂きました。翌朝2月21日から撮影開始です。名古屋駅から大府駅へ大府駅より武豊線に乗り換えます。駅数10駅と短く沿線には鋸屋根があります。先ずは頂いた地図を片手に、東浦駅で下車です。改札口への陸橋からは、膨大な敷地に建つ鋸屋根工場群と煙突が見えて驚きました。東浦駅で工場の事を聞くと「大生紡績の工場だけれど、操業停止ですよ。」と教えて頂き再度驚きました。

「大生紡績」大正8年(1919)創業 2002年2月21日全景撮影



知多半島に綿が作られるようになったのは、1600年代のことで当時、尾張藩より木綿の保護奨励策が出されたのが始まりとされている。その後、晒木綿を生産しようとする者が増加し修行した職人が晒加工の技術を知多地域に伝え盛んになったと伝えられています。1887年には、機械紡績へと切り替わり半田には知多紡績ができました。1898年には自動織機の発明者である豊田佐吉が我が国初の小幅織機を発明し、1927年～1937年（昭和2～12）は知多木綿の黄金時代でした。第二次世界大戦が始まり木綿の生産は一時停滞しますが、戦後まもなく復興を遂げ、大規模な紡績工場から個人経営の機屋まで知多地域に続々と誕生しピーク時には700事業所もあったそうです。1980年から安価な海外製品により、織布産業は不況が続き操業停止になった工場もあります。織布産業を支えてきた鋸屋根工場の存続が危ぶまれ、この現状を見た稲生先生は知多半島東浦地域の鋸屋根を調査したのです。大生紡績を見てきました。正面玄関は閉鎖ですが敷地内への門があり立入禁止の看板がありましたが中に入るとセンサーがキャッチして犬が吠えました。平屋の建物は住宅のようでしたが留守でした。私は大声で「失礼します。鋸屋根を見せて頂きます」と言いながら敷地内を探索しました。寮だったと思われる赤い屋根が4棟見えました。廃墟化している10数連の鋸屋根を7棟確認し、煙突も2本見ましたが誰もいませんでした。帰るときも犬に吠えられ「ありがとうございました。」と別れを告げました。大生紡績は1919年創業、知多木綿製造。最盛期の1955年には従業員数が630人をこえ、工場敷地内に社員寮も建てられました。1992年に閉鎖されましたが、建物群がまとまった形で残っていました。次回へ続く



「写真説明 2002年2月21日撮影：上より」

- 向かい側マンションより俯瞰撮影・大生紡績全景
- 大生紡績敷地内より社員寮と鋸屋根工場

ベトナム北部サパ市もろもろ事情

7月28日、ハノイ滞在で旅の後半になります。日中買い求めた絵葉書をハノイ郵便局で投函しました。投函ポストの正面は道路側を向いていました。2週間したら、東京に到着しました。ハノイ動物園に行き、「かわいそうな象」を観てきました。

アジアニュース No.9
(ベトナム中心) TN

社会 アジア動物基金、ハノイ動物園のゾウ2頭を自然の森に返すよう提案 2023/08/14 05:48 JST 配信

アジア動物基金(Animals Asia Foundation=AAF)は10日、ハノイ動物園の年老いたゾウ2頭をゾウの保存と動物保護の精神から自然の森に返すよう、ハノイ市人民委員会とハノイ動物園に提案する文書を送付したことを明らかにした。

文書によると、2頭のゾウは足を固定場所に鎖でつながれているため、檻の中を自由に動き回ることができず、来園者ばかりでなくネット世論にも多くの不満と同情を引き起こしていた。

※※※※※

夕食は、ベトナムの方に教えてもらった海鮮料理を堪能しました。送ってきてもらいついでに、ハノイ駅で久しぶりの囲碁を打ちました。ラオカイ駅行の22時発の夜行寝台列車でハノイを離れました。



朝7時に着いたラオカイ駅で迎えの車を待っていたらひと騒動ありました。ホテル側は昨日メール連絡して、手配していないことが判明、間に入っていたいたタクシードライバーの車でサパへ到着。このホテルは、コンドミニウムスタイルで、支配人の女主人がほとんど対応してくれました。29日の土曜日になっており、夜のサパ広場周辺は、人人の群れでした。昼食は、ホーガー。夕食は郷土料理の店に、民族楽器で歓迎されました。



今回は、観光案内になりそうです。30日は、バックハーの日曜市の日帰り観光(ホテル手配)。この日程を確保するためのスケジュール調整を行いました。サパを朝8時ごろ出発。同乗者は、フランス人2人、ベトナム人1人、日本人3人、ほかは8人ほどのスペイン人でした。ガイドは、現地人で、訛りのある英語ツアーでした。いったんラオカイ駅まで降り、先の山まで



の道のりで、駅周辺はすさまじいスコールでした。天気で恵まれないかと思っていたら、バックハーは好天気でした。もともとは山岳の各民族間の物々交換の場だったようです。

きらびやかな民族衣装での売り子さん、観光客でごった返していました。



戻りのラオカイ駅はすっかり晴れ上がっていました。中国国境と接している場所です。日曜日のサ



パ広場の入出は少なかったです。

夕食は、屋台料理で、何でも焼いてもらって食べました。鶏肉、野菜、カエルなどなど、安上がりで済ませることが



ができました。

31日は、ベトナムの最高峰のパンシーパン山に行きました。登山列車とロープウェイとの乗り継ぎでした。観光開発が進んでいて、結構高額な費用が掛かりました。泊まっていたホテルから眺められるのですが、いつも霧がかかっていました。天候には恵まれましたが、山は霧の中でした。



1日の11時に、サパを離れ、高速バスでハノイに夕方着きました。バス内では、飲食及び下足禁止でした。



2日は、荷物を預けて、お土産のコーヒーやお菓子を買いました。ハノイ名物のエッグ珈琲を飲んでいたら、すさまじいスコールに会いました。上げかけた腰を下ろして、トランプゲームをして時間をつぶしました。夕方、ベトナムの友人の経営するレストランで、スペアリブなどをいただきました。夕食後、ハノイの飛行



場に向かい、3日の午前0時20分に出発でした。

掲示板



8/27 日 「チップコ 命の木」フェスティバル 主催:市民団体 Save Jingu Gaien

野球場の建て替えに伴い移設される 18 本の銀杏並木のもとで開かれました。書道の大家 William Reed によるデモンストレーション、著名な画家 Andrew Boerger によるボディペインティング、演奏、紙芝居などが行われました。暑い日でしたが木陰は涼しく爽やかなでした。



- 9/2 サザンオールスターズの桑田佳祐さんが坂本龍一さんの思いを受けて新曲「Relay 杜の詩」を発表
9/4 「国立競技場を未来に手わたす会」が都庁で会見「これ以上、都心の緑が減らないことを願う」とする声明を発表。歌手の加藤登紀子さん、俳優の秋吉久美子さん、作家の浅田次郎さんら文化人や学識経験者を中心とする 78 人が賛同人としてメッセージを寄せた。

オンライン講座 新建ゼミ

私たち 建築人に何ができるのか！ 豊かな生活空間づくりに向けて 藤本昌也氏とのクロストーク

全国政策委員会主催の 6 月 19 日からスタートした「新建ゼミ」が終了しました。

藤本さんの講演は 2022 年に開催した「建築とまちづくりセミナー in 茨城」続き、オンライン連続セミナー「都市デザインの本格的な議論をはじめませんか」、そして今回の新建ゼミにつながりました。

東京支部では全国幹事の江国智洋さんを中心に、テーマや進行役・話題提供の方を決めて打合せをして、3 か月に渡り進めてきました。新建ゼミには第 1 回 59 名、第 2 回 50 名、第 3 回 41 名、延べ 150 名が参加しました。参加者申込は 82 名（会員は 17 支部より 72 名、会員外は 10 名）東京支部からは 23 名でした。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 6/19 (月) 第 1 回「つながる住まい」 | 進行役を江国智洋さん |
| 7/27 (木) 第 2 回「住まいとまちと」 | 進行役を岡田昭人 話題提供を野田明宏さん |
| 8/29 (火) 第 3 回「これからの暮らしのしくみ」 | 進行役を高田桂子さん |

高橋偉之さんを偲ぶ会

9月29日(金) 17時~19時 (開場 16時30分)



自由学園明日館 2階 食堂

豊島区西池袋 2-31-3

J R 池袋駅メトロポリタン口より徒歩 5 分 / J R 目白駅より徒歩 7 分

参加費 : 5000 円

新建築家技術者集団東京支部
NPO 法人 設計協同フォーラム



出席・欠席のご連絡は下記フォームへ
<https://nu-ae.com/tokyo/230929shinobukai/>

主な式次第

- ・個人の略歴紹介
- ・献花
- ・思い出のスライド
- ・お別れのことは
- ・追悼の演奏

チェロ 江原望 (日フィル)

★ティータイム





建築とまちづくりセミナー

彦根 in

Program



夏川記念会館
なつかけねんかいかん

10/14
土

12:30- 受付 会場：夏川記念会館 教育ホール

13:30-15:00 レクチャー -1 (仮題) 彦根城の修復・保存
講師：池野保さん (滋賀支部会員)
元滋賀県文化財保護課

15:30 旅館にチェックイン後、彦根城散策

18:30 夕食&交流会 会場：伊勢幾



伊勢幾 いせいいく

宿泊 旅館：鳥羽や旅館・清滝旅館 (いずれも和室3~6人部屋)



清滝旅館
きよたきりょかん



鳥羽や旅館
とばやりょかん

10/15
日

9:30-12:00 レクチャー -2 (仮題) 銀座商店街のまちづくり
講師：阿部俊彦さん (立命館大学准教授)

座談会 小島充子さん (ギャラリーコジマ主宰)
井上一さん (彦根銀座街商業協同組合副理事長)
濱崎一志さん (元滋賀県立大学教授・彦根景観フォーラム理事長)

会場：コジマホール (彦根市銀座町 2-19)

12:00-12:40 ウォッチングガイド 足軽屋敷紹介 講師：笠原啓史さん
(彦根景観フォーラム副理事長・建築工房樫)

銀座商店街の歴史 講師：濱崎一志さん

12:40-14:00 昼食 (自由行動)

14:00-16:30 ウォッチング 銀座商店街~足軽屋敷あたりを歩く
銀座商店街 A ポイント案内人：濱崎一志さん
銀座商店街 B ポイント案内人：阿部俊彦さん
銀座商店街コジマギャラリー：小島充子さん
足軽屋敷案内人：笠原啓史さん

16:30 修了式 解散



銀座通り
ぎんざどおり



住む人・使う人の立場で、
住まいづくり、まちづくりを
すすめています。



共同建替え「アリア鳩ヶ谷」

〒124-0001
東京都葛飾区小菅4-22-15
TEL : 03-3601-6841
FAX : 03-3601-6944
E-mail : zo-3@jade.dti.ne.jp
http://www.zo-3.info

株式会社 **象地域設計**

新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

住み続けられる



株式会社
まちづくり研究所

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503
TEL : 03-5423-3470 FAX : 03-5423-3479

住む人に、環境に、優しく・・・
さらに美しさをお届けする

ルナファーマー

五感で味わう心地よい空間・・・

ルナファーマーは、環境保護先進国「ドイツ」で広く普及している塗装下地壁紙。通気性や透湿に優れ、結露やカビの発生を抑えます。紙のパターンと塗装色の組み合わせで、お部屋の演出は思いのまま。模様替えやメンテナンスもそのまま塗り重ねるだけでOK。(10回程度可能) 廃材もほとんど出ないので、環境に優しい材料です。



(輸入元)日本ルナファーマー(株)
東京都港区南青山2-9-3
青山JPビル 2階
TEL 03-5785-2750
(施工店)(有)ルナファーマー・テクノ
東京都港区高輪4-23-6
TEL 03-5792-5819

新協建設工業株式会社

平和であればこそ建築はよろこび

本社 台東区台東2-25-10
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3
台東支店 (台東)台東区台東2-25-10
西東京支店 (多摩)日野市神明4-22-13
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11
石川支店 金沢市法光寺町207-4
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728